

## 2. 観察的研究:セカンドオーディエンスによる高校生の性意識調査

### 2-① 全国高校生の生活・意識調査

#### 【 調査目的 】

わが国の高校生の性に対する意識・態度、性行動を含めた生活実態に関する現状と、保護者の意識および保護者が高校生だった年代の生活実態・意識の違いを把握する。

#### 【 調査者 】

(主体) 社団法人全国高等学校 PTA 連合会

(協力) 厚生労働省 HIV 社会疫学研究班若者予防グループ

社団法人全国高等学校 PTA 連合会健全育成委員会委員、全国高等学校校長会委員、本研究班分担研究者（木原雅子）を委員長として構成される『高校生の心身の健康を育む家庭教育の充実事業協力者会議』が設置され、各都道府県市高等学校 PTA 連合会の協力を得て調査が実施された。

#### 【 対象と方法 】

(1) 調査実施時期：2005 年 10 月

(2) 対象：全国の公立高等学校 2 年生の生徒と保護者

(3) 調査方法

サンプリング方法：割当て法 (quota sampling)

- ・ 全国 9 地区（北海道、東北、関東、東京、東海、北信越、近畿、中四国、九州）
- ・ 各地区から 6 校選出（ $9 \times 6 = 54$  校）
- ・ 各校全学年から各 2 クラス選出
  - ① 学校は郡部/都市部、実業高校/普通高校の偏りがないように選出
  - ② クラスははできるかぎり各学年の中で平均的なクラスを選出

#### 実施方法

無記名自記式質問紙調査、生徒には学校における集合調査を実施した。調査は試験と同じ要領で行い（記入中は他の生徒と私語禁止。他の生徒の解答用紙は見ない。全員が調査終了するまで席を離れない）、調査に先立ち、学校関係者により、調査の重要性を説明した。記入後は添付のシールで各自封印し、回収した。

保護者には生徒が自宅に持ち帰り保護者に手渡した。記入後シールで封印し、各学校で回収し、事務局へ郵送する方式を採用。保護者の回収率向上のため、一般的な調査の説明文書の同封だけでなく、各地域 PTA 会長が、直接各学校に赴き、調査趣旨の説明と依頼を行った。

(4) 質問紙と調査項目

① 高校生用質問紙構成

自記式で 13 ページ、回答所要時間は約 15 分間、主質問 45 問、付問を含めて 68 問。質問紙の構成は、①属性、②家族構成、③家庭生活（家族との会話頻度、個室所有の有無、塾予備校参加の有無、家族一緒にの食事頻度、放課後の状況の保護者の把握程度、一日の学外での勉強時間、テレビ視聴時間、ゲーム遊戯時間、読書量、家事手伝い状況、携帯電話の使用頻度、夜間 10 時以降の外出頻度、悪いことをしたとき、よいことをしたときの保護者の対応、保護者の子どもに対する姿勢）、④地域生活（近所の知り合いへの挨拶頻度、

会話頻度、近所の年下の子どもとの接触頻度、地元イベントへの参加頻度)、⑤学校生活(学校の先生との人間関係、友人関係、学校の成績、部活参加の有無)、⑥各種経験(習い事、ボランティア活動、アルバイト、喫煙、飲酒、その他のリスク行動)、⑦交友関係、⑧性行動、⑨生徒自身の考え方(性関係容認度、コミュニケーション力、友人関係、将来への夢、生きる姿勢、精神状態、自慢できるところ、大人観、自分にとって大切なこと、⑩周囲の大人への希望(自由記載)など(高校生用質問紙:資料6)。

#### ②保護者用質問紙構成

自記式で8ページ、回答所要時間は約10分間、主質問31問、付問を含めて32問。質問紙の構成は、①属性(性別、年齢)、②保護者の高校生時代の状況や考え方(家族一緒にの食事頻度、家族との会話頻度、親との意思疎通程度、叱り方褒め方、先生に対する意識、学校についての意識、先生に相談したか、親友の有無、尊敬する人の有無、実現したい夢の有無、高校生の喫煙に対する当時の考え方、高校生の飲酒に関する当時の考え方、高校生の性関係に対する当時の考え方)、③現在の状況(自分の子どもの性別、家族一緒にの食事頻度、子どもとの会話頻度、自分の子どもとの意思疎通程度、自分の子どものよい点、不満な点、自分の子どもの夢を知っているか、わが子が悪いことやよいことをしたときの対応、自分の子どもの夜間外出頻度、高校生の喫煙に対する現在の考え方、高校生の飲酒に関する現在の考え方、高校生の性関係に対する現在の考え方、自分の子どもはいつ性関係の意味を知ったと思うか?)、④保護者の希望(学校、家庭での親子関係について自由記載)など。(保護者用質問紙:資料7)

### (5) 調査参加者数

#### ①高校生参加者数

調査に参加した生徒総数は5,778人(回収率100%)で、そのうち有効回答者5,755人(有効回答率99.6%)、無効回答者23人(内訳:回答に論理的に矛盾する回答が含まれていたため、個別の調査票を確認し無効としたもの3人、性別不明のため集計から除外したもの20人)であった。参加者の性別内訳は、高校2年生5,755人(男子2,913人、女子2,842人)、であった。

#### ②保護者参加者数

回収できた質問紙総数は4,727人(回収率81.8%)で、そのうち有効回答者4,574人(有効回答率96.8%)、無効回答者153人(内訳:生徒自身が記入した可能性があると思われるもの26人、性別不明のため集計から除外したもの127人)であった。参加者の性別内訳は参加保護者4,574人(男性604人、女性3,970人)であった。

\*注:保護者に対する調査の回収率は、通常低率(生徒が手渡さない、保護者が返答しない)で30~40%であるが、今回はPTA連合会主催の調査であり、さらに各地域のPTA会長等役員の熱心な活動により高い回収率が得られたと考えられる。ただし、回収者のうち86.8%は母親の回答であり、父親の参加は多くはなかった。

### (6) 統計学的分析

カテゴリー変数の検定にはカイ二乗検定を用い、変数の分類には主成分分析を、多変数の交絡の調整には多重ロジスティック回帰分析法を用いた。計算には、SPSS ver. 12を使用した。なお、検定は時間の制約上、一部に限定して行い、検定を行ったもののみ、その結果を記載した。また、多重仮説検定は行っていないので、注意が必要である。

### (7) 倫理的配慮

倫理的配慮として、質問紙の表紙には、匿名性を保つこと、データは統計処理され個人が特定されることはないことを明記した。また、調査開始に際し、この調査は強制でないこと、答えなくなかったら答えなくてもよいこと(白紙の提出可)、記入しなかったことに

よって成績や学校での評価に影響することはないこと、調査を拒否しても何ら不利益を被らないことを質問紙の表紙に記載し、教員より口頭でも説明した。また、調査終了後は、対象者自身により、添付のシールで封をさせ、学校関係者は内容を見ないことを説明した。

## 【 調査結果 】

### A. 基本的分析（性別集計：保護者の調査結果については一部のみ掲載）

#### (1) 家庭生活

##### ◆家族との会話頻度（表1）（表2）（表3）

高校2年生男女の家族との日常会話頻度を尋ねた（表1）。「よく話をする」生徒は、男子では55.6%、女子では76.9%で女子の方が2割ほど多かった（ $P<0.001$ ）。また、表2に会話の相手を示す。「よく話をする」相手は、男女とも母親（男子90.3%、女子93.0%）が一位で90%を超え、兄弟姉妹（男子69.4%、女子66.3%）、父親（男子59.1%、女子41.1%）の順で、父親との会話は男子生徒の方が2割程度多かった（ $P<0.001$ ）。

一方、家族との会話頻度について保護者にも同様の質問をした（表3）。「よく話をしていた」人は、男性では45.7%、女性では62.5%で、女性の方がよく話をする傾向は現在の高校生と同じであったが、現在に比べると会話頻度は男女とも1割程度低かったことが示された。

表1. 家族との日常会話頻度

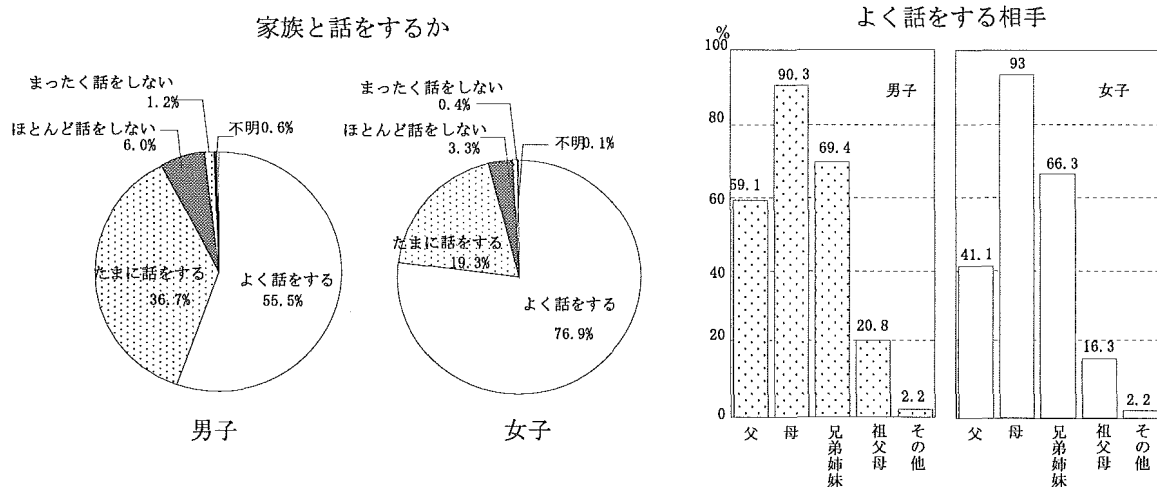
	男子	%	女子	%
まったく話をしない	35	1.2	12	0.4
ほとんど話をしない	175	6.0	93	3.3
たまに話をする	1,068	36.7	549	19.3
よく話をする	1,617	55.5	2,186	76.9
不明	18	0.6	2	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表2. よく話をする相手（複数回答）

	男子	%	女子	%
	n=1613		n=2179	
父	953	59.1	895	41.1
母	1,456	90.3	2,026	93.0
兄弟姉妹	1,119	69.4	1,445	66.3
祖父母	335	20.8	356	16.3
その他	35	2.2	47	2.2

表3. 家族との日常会話頻度（保護者が高校生だった頃）

	男	%	女	%
全く話をしなかった	4	0.7	27	0.7
ほとんど話をしなかった	40	6.6	161	4.1
たまに話をしていた	265	43.9	1,208	30.4
よく話をしていた	276	45.7	2,483	62.5
覚えていない	15	2.5	76	1.9
不明	4	0.7	15	0.4
合計	604	100.0	3,970	100.0



◆ 家庭内の個室所持状況、塾・予備校参加状況 (表 4) (表 5)

家庭内に自分だけの個室を持っているかを尋ねた (表 4)。男子の 82.4%、女子の 77.1% と男女とも約 8 割の生徒が個室を所有していた。

塾・予備校に通っている生徒は、男子 12.9%、女子 13.7% と男女とも約 1 割強であった (表 5)。

表 4. あなたは自分だけの部屋をもっていますか？

	男子	%	女子	%
はい	2,401	82.4	2,192	77.1
いいえ	499	17.1	648	22.8
不明	13	0.4	2	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 5. 塾・予備校に通っていますか？

	男子	%	女子	%
はい	376	12.9	388	13.7
いいえ	2,517	86.4	2,452	86.3
不明	20	0.7	2	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

◆ 家族そろっての食事頻度 (表 6) (表 7)

次に家族全員そろって食事をする頻度を尋ねた (表 6)。毎日一緒に食事をしている生徒は、男子 34.5%、女子 37.1% と 3~4 割にとどまり、一方、一緒に食事をする頻度が週 1 回以下の生徒が男 30.5%、女子 32.1% と 3 割近くも存在し、希薄な家族関係が示唆された。

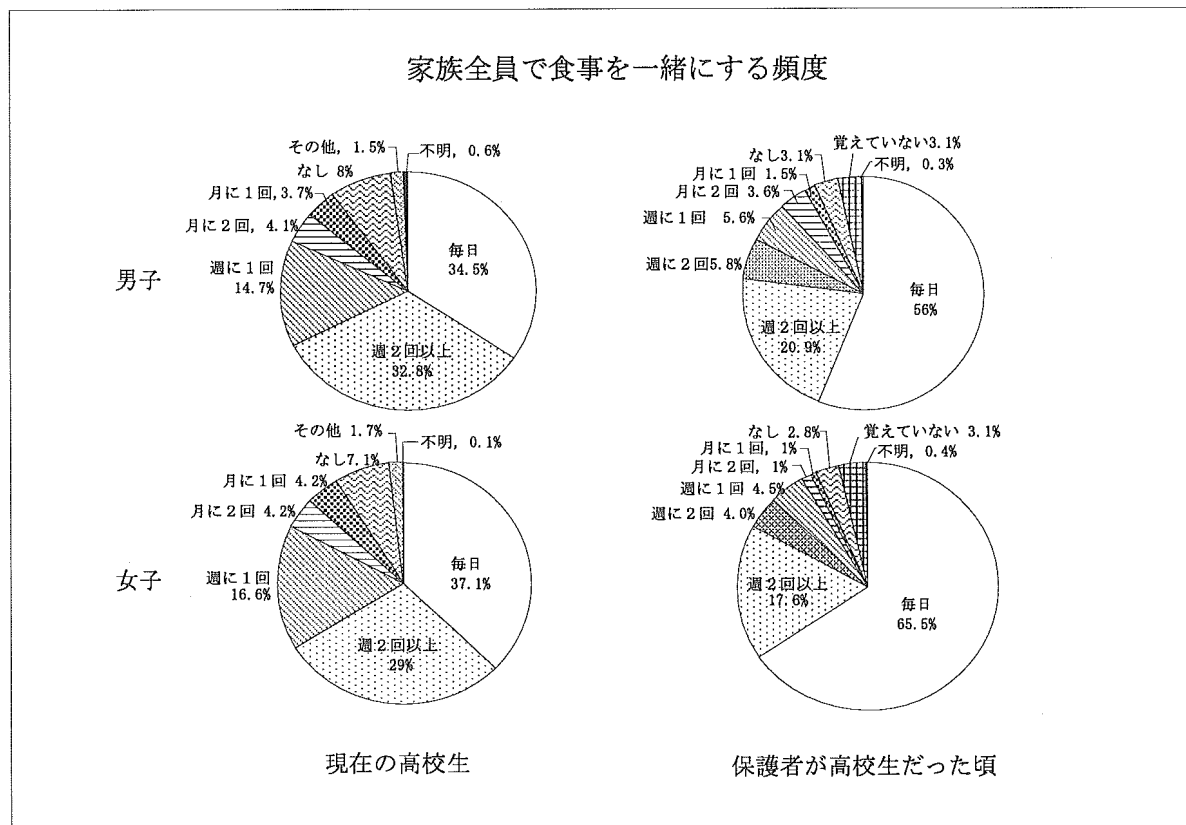
一方、生徒の保護者にも同様の質問 (保護者が高校生だったころの食事の状況) をした (表 7)。毎日家族全員で食事をしてきた人は、男性では 56.0%、女性では 65.5% と 6 割前後もあり、一方、一緒に食事をする頻度が週 1 回以下だったのは、男性 13.8%、女性 9.3% とわずか 1 割程度にとどまり、保護者が高校生だったころに比べ、現在の高校生の家庭では、家族全員そろっての食事の頻度が大きく減少しており、この間の家庭環境の顕著な変化が示唆された。

表 6. 家族全員で食事を一緒にする頻度

	男子	%	女子	%
一緒に食べることはない	234	8.0	202	7.1
月に1回ぐらい	109	3.7	120	4.2
月に2回ぐらい	119	4.1	118	4.2
週に1回ぐらい	427	14.7	473	16.6
週2回以上	956	32.8	823	29.0
毎日一緒に食べている	1,006	34.5	1,054	37.1
その他	44	1.5	48	1.7
不明	18	0.6	4	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 7. 家族全員で食事を一緒にする頻度（保護者が高校生だった頃）

	男子	%	女子	%
一緒に食べることはなかった	19	3.1	112	2.8
月1回ぐらい	9	1.5	40	1.0
月2回ぐらい	22	3.6	41	1.0
週に1回ぐらい	34	5.6	180	4.5
週2回ぐらい	35	5.8	159	4.0
週2回以上	126	20.9	697	17.6
毎日	338	56.0	2,602	65.5
覚えていない	19	3.1	123	3.1
不明	2	0.3	16	0.4
合計	604	100	3,970	100

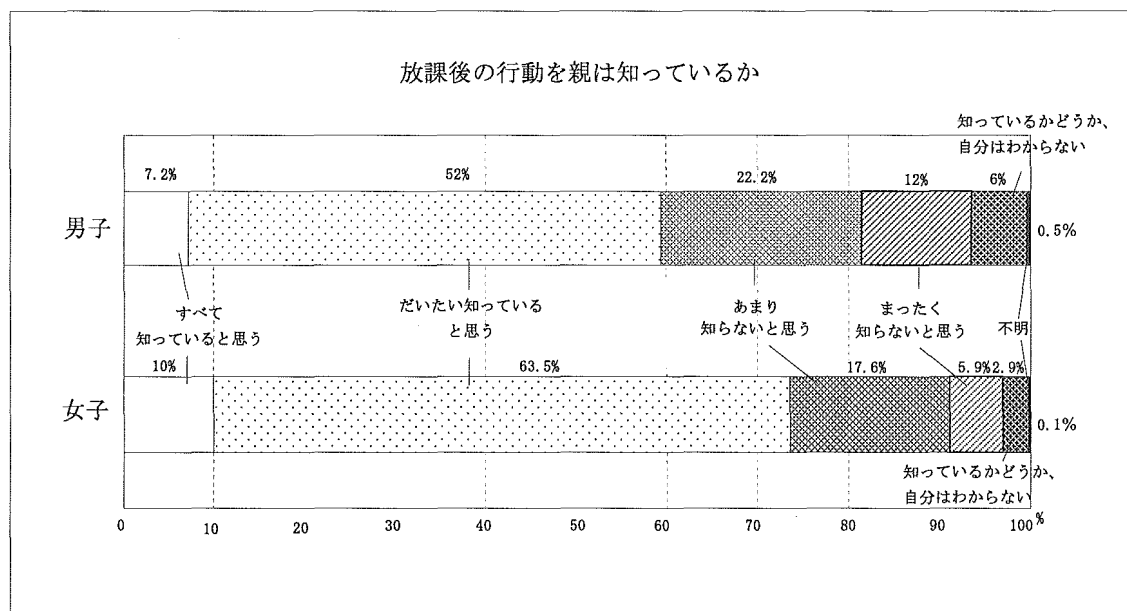


◆放課後、帰宅するまで、どこで誰と何をしているか保護者はどこまで把握しているか (表 8)

放課後の生徒の行動をどこまで保護者が把握していると思うかを尋ねた (表 8)。男女とも「だいたい知っていると思う」が最も多く、男子 52.0%、女子 63.5%と、半数以上の保護者が放課後の行動をおおまかには把握していることが示されたが、「まったく知らないと思う」も男子に 12.0%、女子に 5.9%存在していた。

表 8. 放課後の行動を親は知っていますか？

	男子	%	女子	%
すべて知っていると思う	211	7.2	285	10.0
だいたい知っていると思う	1,515	52.0	1,805	63.5
あまり知らないと思う	648	22.2	499	17.6
まったく知らないと思う	349	12.0	168	5.9
知っているかどうか、自分ではわからない	174	6.0	81	2.9
不明	16	0.5	4	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0



◆家庭での一日の平均学習時間、テレビ視聴時間、ゲーム遊戯時間 (表 9) (表 10) (表 11)

高校 2 年生男女の下校後の学外での一日平均学習時間 (塾・予備校での学習時間を含める) を尋ねた (表 9)。「まったくしない」が男女とも約半数で、1 時間以内を加えると、男子の 81.1%、女子の 77.6%と男女ともその 8 割が一日の平均家庭学習時間が 1 時間以内で、4 時間以上学習している生徒は男子 0.9%、女子 0.9%にとどまり、ほとんど学習していない実態が示された。

これに対し、家庭での一日のテレビの平均視聴時間 (表 10) は男女とも約 2 時間が最も多く男子の 35.0%、女子の 30.9%であり、さらに毎日 4 時間以上テレビを見ている生徒は男子 19.2%、女子 23.7%と 2 割前後にも達していた。また、一日のゲームで遊ぶ時間は、最も多かったのは、「まったくしない」で男子の 37.1%、女子 82.5%であり、女子はほとんどゲームでは遊んでいなかったが、ただし、男子 4.8%、女子 1.1%は一日に 4 時間以上ゲームをしていた (表 11)。

表 9. 普段、学校以外で何時間くらい勉強しますか？

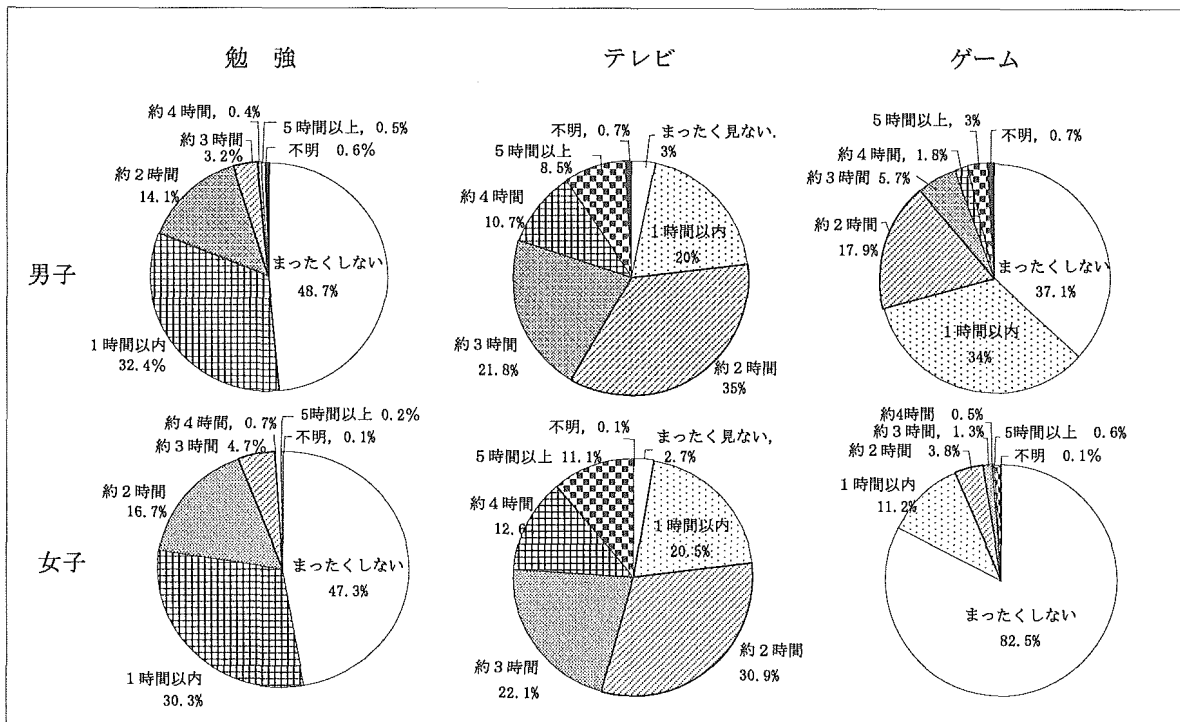
	男子	%	女子	%
まったくしない	1,419	48.7	1,343	47.3
1時間以内	944	32.4	862	30.3
約2時間	411	14.1	475	16.7
約3時間	94	3.2	134	4.7
約4時間	13	0.4	20	0.7
5時間以上	14	0.5	5	0.2
不明	18	0.6	3	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 10. 普段、平均して何時間くらいテレビをみますか？

	男子	%	女子	%
まったく見ない	95	3.3	77	2.7
1時間以内	584	20.0	582	20.5
約2時間	1,019	35.0	878	30.9
約3時間	636	21.8	627	22.1
約4時間	311	10.7	359	12.6
5時間以上	249	8.5	316	11.1
不明	19	0.7	3	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 11. 普段、平均して何時間くらいゲームをしますか？

	男子	%	女子	%
まったくしない	1,080	37.1	2,346	82.5
1時間以内	989	34.0	317	11.2
約2時間	520	17.9	109	3.8
約3時間	166	5.7	36	1.3
約4時間	52	1.8	15	0.5
5時間以上	86	3.0	17	0.6
不明	20	0.7	2	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0



#### ◆半年間の読書量（表 12）

「高校2年生になってから本〔教科書・参考書・マンガ・雑誌を除く〕を何冊読んだか」を尋ねた（表 12）。最も多かったのが、「1～4冊」で男子 48.2%、女子 55.2%と約半数であった。また、「まったく読まなかった」生徒も男子 24.0%、女子 16.4%と2割前後存在した。

表 12. 高校2年生になってから、本を何冊くらい読みましたか？

	男子	%	女子	%
まったく読まなかった	698	24.0	465	16.4
1～4冊	1,403	48.2	1,570	55.2
5～9冊	314	10.8	318	11.2
10～19冊	165	5.7	184	6.5
20冊以上	250	8.6	241	8.5
わからない	63	2.2	61	2.1
不明	20	0.7	3	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

#### ◆家庭での家事実施状況（表 13）

「普段の家事実施状況」を尋ねた（表 13）。最も多かったのが、男女とも、「自分の部屋の掃除」で、男子 59.9%、女子 62.7%と約6割であった。次は、「食事の後片付け」で、男子 37.2%、女子 45.5%で4割程度であった。一方、家事をまったくしていない生徒が、男子 16.5%、女子 10.2%と1～2割も存在していた。

表 13. 家庭での手伝い内容（複数回答）

	男子 n=2876	%	女子 n=2825	%
自分の部屋の掃除	1,722	59.9	1,772	62.7
風呂掃除	648	22.5	649	23.0
洗濯	378	13.1	539	19.1
洗濯物をたたむ	359	12.5	803	28.4
食事の準備	636	22.1	1,176	41.6
食事の後片付け	1,070	37.2	1,284	45.5
弁当づくり	74	2.6	292	10.3
弟妹の世話	227	7.9	255	9.0
ペットの世話	565	19.6	630	22.3
病人やお年寄りのお世話	46	1.6	35	1.2
その他	73	2.5	78	2.8
なにもしていない	475	16.5	288	10.2



◆携帯電話所持・使用状況（表 14）（表 15）

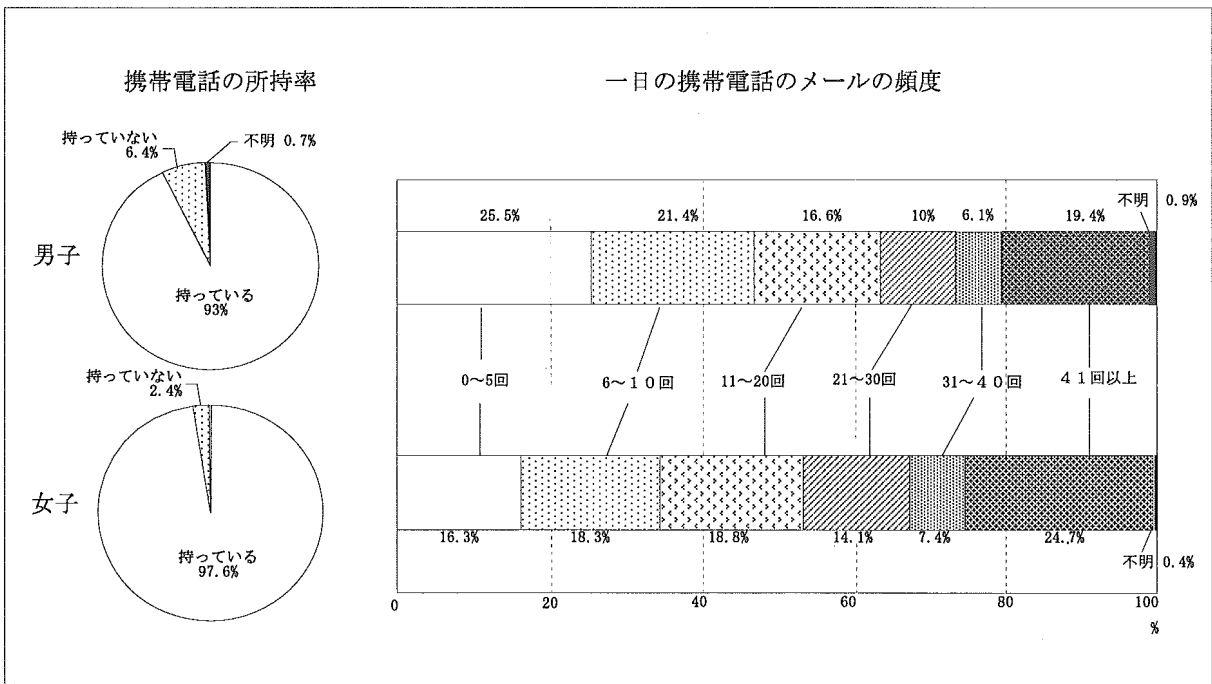
携帯電話の所有の有無を尋ねた（表 14）。男子 93.0%、女子 97.6%と男女ともほとんどの生徒が所有していた。さらに携帯電話の「一日の平均送受信メール回数」を尋ねた（表 15）。男子では、「0～5 回」が 25.5%で最も高く、次が「6～10 回」21.4%であり、3 番目が「40 回以上」で 19.4%あった。それに対し、女子では、最も多かったのが「40 回以上」で 24.7%と約 4 分の一を占め、次が「11～20 回」で 18.8%で女子の使用頻度の方が高かった。

表 14. 携帯電話をもっていますか？

	男子	%	女子	%
はい	2,709	93.0	2,774	97.6
いいえ	185	6.4	67	2.4
不明	19	0.7	1	0.0
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 15. 一日平均して、送信・受信あわせて何回ぐらいメール交換をしますか？

	男子	%	女子	%
0～5 回	692	25.5	453	16.3
6～10 回	581	21.4	507	18.3
11～20 回	450	16.6	521	18.8
21～30 回	271	10.0	392	14.1
31～40 回	166	6.1	204	7.4
41 回以上	525	19.4	686	24.7
不明	24	0.9	11	0.4
合計	2,709	100.0	2,774	100.0



◆夜 10 時以降の外出頻度・外出先・保護者の許可（表 16）（表 17）（表 18）

高校生の夜間外出の頻度「よくある」「たまにある」「めったにない」「たまにある」を尋ねた（表 16）。最も多かったのは男女とも「めったにない」で男子 35.7%、女子 36.7%であったが、夜間外出が「よくある」生徒が男子 14.4%、女子 7.6%と 1 割前後存在していた。「よくある」「たまにある」生徒の外出先は、男女とも、最も多かったのが「コンビニ」で男子 52.7%、女子 42.5%、次が「友人宅」で男子 50.9%、女子 41.4%であった。また、その夜間外出を保護者が許していたのは男子 78.7%、女子 71.8%と 7～8 割が許していた。

表 16. 夜 10 時以降に、外出していることがありますか？

	男子	%	女子	%
よくある	420	14.4	217	7.6
たまにある	900	30.9	804	28.3
めったにない	1,040	35.7	1,042	36.7
まったくない	533	18.3	776	27.3
不明	20	0.7	3	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

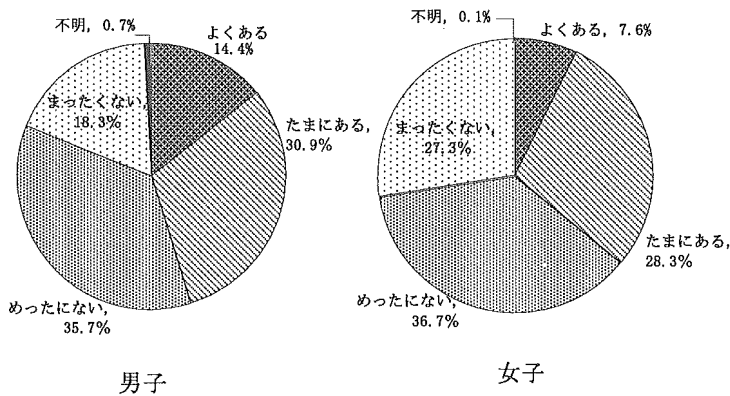
表 17. 夜 10 時以降の外出先はどこですか？（複数回答）

	男子	%	女子	%
	n=1300		n=1008	
塾	145	11.2	125	12.4
コンビニ	685	52.7	428	42.5
友人宅	662	50.9	417	41.4
ファミリーレストラン、ファーストフード店	190	14.6	241	23.9
その他	313	24.1	333	33.0

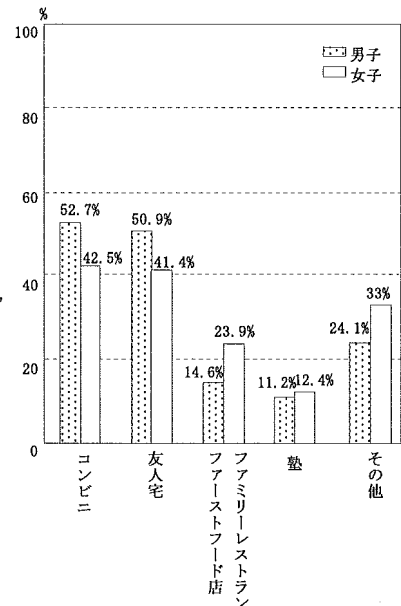
表 18. 親はあなたが夜間に外出することを許していますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,039	78.7	733	71.8
いいえ	145	11.0	186	18.2
親は知らないと思う	93	7.0	70	6.9
不明	43	3.3	32	3.1
合計	1,320	100.0	1,021	100.0

夜 10 時以降の外出



夜 10 時以降の外出先



◆高校生への保護者の叱り方/褒め方 (表 19) (表 20) (表 21) (表 22)

「中学校・高校時代に悪いことをしたときに保護者はどうしたか？」を尋ねた (表 19)。最も多かったのが男女とも「口で注意された (叱られた)」で男子 60.0%、女子 59.3%であり、「たたかれたことがある」は男子 16.2%、女子 18.3%で、「何も注意されなかった」はあった。それに対し、保護者が高校生だったころについて、保護者にも同様の質問をしたところ (表 20)、「口で注意された (叱られた)」が男子 66.5%、女子 64.8%で現在とほぼ同じであったが、「たたかれたことがある」は男性の 38.2%、女性の 31.1%で、現在よりも 2 倍くらい高率であった。

次に、「中学校・高校時代によいことをしたときに保護者はどうしたか？」を尋ねた (表 21)。男女とも「口で褒めてくれた」が最も多く、男子 63.8%、女子 75.4%であったが、「よいことをしても何も言われなかった」が、男子 15.1%、女子 12.0%も存在した。一方、保護者が高校生だったころについて、保護者にも同様の質問をしたところ (表 22)、「口で褒めてくれた」が男性 64.8%、女性 73.6%で、「何も言われなかった」は男性 13.3%、女性 9.9%と約 1 割で、褒め方に関しては現在の高校生とほぼ同様の傾向を示した。

表 19. あなたが、中学・高校時代に何かわるいことをしたとき、親 (保護者) はどうしましたか？ (複数回答)

	男子		女子	
	n=2884	%	n=2827	%
自分は何も悪いことをしなかった	799	27.7	857	30.3
何も注意されなかった	95	3.3	59	2.1
口で注意された (叱られた)	1,730	60.0	1,676	59.3
たたかれたことがある	466	16.2	518	18.3
その他	66	2.3	75	2.7

表 20. あなたが悪いことをしたとき親はどうしましたか？ (保護者が高校生だった頃) (複数回答)

	男		女	
	n=600	%	n=3958	%
自分は何にもわるいことをしなかった	33	5.5	482	12.2
何も注意されなかった	14	2.3	82	2.1
口で注意された (しかられた)	399	66.5	2,753	69.6
たたかれたことがある	229	38.2	1,232	31.1
その他	12	2.0	68	1.7
覚えていない	17	2.8	67	1.7

表 21. あなたが、中学・高校時代に何かいいことをしたとき、親 (保護者) はどうしましたか？ (複数回答)

	男子		女子	
	n=2883	%	n=2826	%
自分は何もいいことをしなかった	469	16.3	204	7.2
何も言われなかった	436	15.1	339	12.0
口でほめてくれた	1,840	63.8	2,130	75.4
ごほうびをくれた	223	7.7	456	16.1
その他	73	2.5	54	1.9

表 22. あなたがいいことをしたとき親はどうしましたか？ (保護者が高校生だった頃)

	男子		女子	
	n=600	%	n=3935	%
自分は何もいいことはしなかった	35	5.8	133	3.4
何も言われなかった	80	13.3	390	9.9
口でほめてくれた	389	64.8	2,895	73.6
ごほうびをもらったことがある	72	12.0	441	11.2
その他	13	2.2	54	1.4
覚えていない	66	11.0	418	10.6

### ◆子どもに対する保護者の姿勢（表 23）

「あなたの親は、あなたのことをわかろうとしてくれているか」を尋ねた（表 23）。実際に理解しているかどうかは別として、男子 51.0%、女子 56.7%と半数以上の親は理解しようと努めていると子どもが感じていることが示されたが、「わかろうとしてくれているとは思えない」と答えた生徒が男子 6.0%、女子 7.5%と 1 割弱存在することが明らかになった。

表 23. あなたの親（保護者）、あなたのことをわかろうとしてくれていると思いますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,485	51.0	1,611	56.7
いいえ	175	6.0	214	7.5
わからない	1,221	41.9	1,008	35.5
不明	32	1.1	9	0.3
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

## (2) 地域生活

### ◆近所づきあい（表 24）（表 25）（表 26）（表 27）

「近所の知っている大人にあったとき挨拶をする頻度」を尋ねた（表 24）。「よく挨拶すると答えた生徒は男子 45.5%、女子 49.4%で約半数であったが、「近所に知っている大人がいない」生徒が男子 2.4%、女子 1.7%存在した。

「近所の知っている大人と話をする頻度」を尋ねた（表 25）。「たまにする」生徒が男子 33.1%、女子 37.9%で、「めったにしない」は男子 36.0%、女子 35.0%で、全体の 7 割を占め、挨拶はするが会話を交わすまでの関係は持っていない様子が示された。

「近所の子〔年下〕と遊んだ頻度」を尋ねた（表 26）。男女とも「たまにあった」が最も多く、男子 33.3%、女子 36.2%で 3 割を超えていたが、「まったくなかった」生徒が男子 22.7%、15.5%で約 2 割前後にも達していた。

「地元のお祭り・運動会などに参加する頻度」を尋ねた（表 27）。男女とも「小さいときは参加したが最近はしない」が最も多く、男子 54.1%、女子 57.2%と約半数を占め、年齢とともに地域との関係が希薄になる傾向が示されたが、「よく参加する」生徒も男子 9.7%、女子 10.4%と 1 割近くは存在していた。

表 24. 近所の知っている大人に会ったとき、挨拶をしますか？

	男子	%	女子	%
よくする	1,324	45.5	1,403	49.4
たまにする	1,184	40.6	1,195	42.0
めったにしない	240	8.2	156	5.5
まったくしない	75	2.6	37	1.3
知っている大人がいない	71	2.4	49	1.7
不明	19	0.7	2	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 25. 近所の知っている大人と話をしますか？

	男子	%	女子	%
よくする	213	7.3	225	7.9
たまにする	965	33.1	1,076	37.9
めったにしない	1,050	36.0	995	35.0
まったくしない	559	19.2	464	16.3
知っている大人がいない	109	3.7	79	2.8
不明	17	0.6	3	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 26. 自分より年下の近所の子供と遊んだことはありましたか？

	男子	%	女子	%
よくあった	526	18.1	695	24.5
たまにあった	969	33.3	1,030	36.2
めったになかった	604	20.7	501	17.6
まったくなかった	660	22.7	441	15.5
近所に年下の子供がいなかった	136	4.7	171	6.0
不明	18	0.6	4	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 27. 地元のイベント（お祭り・運動会）に参加しますか？

	男子	%	女子	%
参加したことはない	228	7.8	141	5.0
小さいときは参加したが、最近はしない	1,577	54.1	1,627	57.2
ときどき参加する	809	27.8	771	27.1
よく参加する	282	9.7	295	10.4
不明	17	0.6	8	0.3
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

### (3) 学校生活

#### ◆学校生活および友人関係（表 28）（表 29）（表 30）（表 31）（表 32）（表 33）（表 34）（表 35）（表 36）（表 37）

「学校生活を楽しんでいるか」を尋ねた（表 28）。「楽しんでいる」が男女とも最も多く、男子 65.0%、女子 67.7%と 7 割近くであった。一方、保護者に「高校生の年代に、学校をどのように感じていたか」を尋ねた（表 29）。「楽しい/どちらかといえば楽しいと感じていた」人は、男性 72.8%、女性 72.0%で現在の高校生同様 7 割程度であった。一方、「学校をやめたいと思ったことはあるか」という質問には、現在の高校生では男子 35.4%、女子 43.8%がやめたいと思ったことがあるのに対し（表 30）、保護者では「高校生だったころ学校をやめたいと思っていた」人は男性 0.8%、女性 1.1%で、質問の仕方が異なるため解釈に注意を要するが、現在の高校生とは意識が異なる可能性が示唆された（表 29）。

次に、学校の先生との関係では、「気軽に声をかけてくれる先生の存在」を尋ねた（表 31）。「気軽に声をかけてくれる先生がいる」生徒は、男子 51.2%、女子 56.0%と約半数であった。「学校の先生は、服装や態度について厳しく注意するか」を尋ねた（表 32）。男子 54.3%、女子 60.9%が「厳しく注意する」と答えていた。「先生は、すべての生徒に平等に接していると思うか」を尋ねた（表 33）。男女とも「思わない」が最も多く、男子 55.0%、女子 58.3%で 6 割以上が先生に不平等感を抱いていることが示された。「あなたの話をきいてくれる先生がいるか」を尋ねた（表 34）。男女とも「いる」と答えた生徒が多く、男子 46.1%、女子 47.3%で話しをきいてくれる先生は約半数はいると答えた。一方、「あなたをわかろうとしている先生がいるか」の質問（表 35）に対しては、いると答えたのは男子 30.1%、女子 29.5%で、「話をきいてくれる先生がいる」割合と比べると、20%近くも低く、話は聞いてくれるが、生徒をわかろうとしている（と生徒が感じる）先生の割合は少ないことが示された。

友人関係に関しては、「心から信じられる友達がいるか」を尋ねた（表 36）。信じられる友人がいる生徒が多く、男子 63.2%、女子 69.2%であった。保護者にも「高校時代、心から信じられる友達がいたか」という同様のことを尋ねた（表 37）。男性の 72.8%、女性の 76.5%が信じられる友人を有していたと答えており、現在の高校生よりも高率であった。

表 28. 学校生活を楽しんでいますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,893	65.0	1,924	67.7
いいえ	424	14.6	332	11.7
わからない	570	19.6	579	20.4
不明	26	0.9	7	0.2
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 29. 高校生だったころ、学校をどう感じていましたか？（保護者が高校生だった頃）

	男	%	女	%
楽しいと感じていた	174	28.8	1,138	28.7
どちらかといえば楽しいと感じていた	266	44.0	1,718	43.3
どちらかといえばつまらないと感じていた	71	11.8	447	11.3
つまらないと感じていた	21	3.5	181	4.6
やめたいと思っていた	5	0.8	42	1.1
特に何も感じていなかった	57	9.4	351	8.8
覚えていない	7	1.2	38	1.0
不明	3	0.5	55	1.4
合計	604	100	3,970	100.0

表 30. 今の学校をやめたいと思ったことはありますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,030	35.4	1,244	43.8
いいえ	1,499	51.5	1,258	44.3
わからない	354	12.2	330	11.6
不明	30	1.0	10	0.4
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 31. あなたに気軽に声をかけてくれる先生がいますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,492	51.2	1,591	56.0
いいえ	516	17.7	425	15.0
わからない	873	30.0	815	28.7
不明	32	1.1	11	0.4
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 32. あなたの学校では、服装や生活態度について先生は厳しく注意しますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,583	54.3	1,732	60.9
いいえ	840	28.8	733	25.8
わからない	459	15.8	370	13.0
不明	31	1.1	7	0.2
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 33. 先生たちは、すべての生徒に平等に接していると思いますか？

	男子	%	女子	%
はい	527	18.1	384	13.5
いいえ	1,601	55.0	1,658	58.3
わからない	757	26.0	792	27.9
不明	28	1.0	8	0.3
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 34. あなたの話をきいてくれる先生がいますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,344	46.1	1,343	47.3
いいえ	465	16.0	509	17.9
わからない	1,075	36.9	976	34.3
不明	29	1.0	14	0.5
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 35. あなたをわかろうとしてくれる先生がいますか？

	男子	%	女子	%
はい	876	30.1	839	29.5
いいえ	491	16.9	498	17.5
わからない	1,513	51.9	1,488	52.4
不明	33	1.1	17	0.6
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 36. 心から信じられる友人がいますか？

	男子	%	女子	%
はい	1,840	63.2	1,967	69.2
いいえ	301	10.3	247	8.7
わからない	741	25.4	618	21.7
不明	31	1.1	10	0.4
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 37. 心から信じられる友達がいまいましたか？（保護者が高校生だったころ）

	男	%	女	%
いた	440	72.8	3,039	76.5
いなかった	107	17.7	642	16.2
覚えていない	50	8.3	241	6.1
不明	7	1.2	48	1.2
合計	604	100	3,970	100

#### (4) 各種経験・活動状況

##### ◆クラブ活動（部活）参加状況（表 38）（表 39）

クラブ活動の参加状況を尋ねた（表 38）。男子 72.3%、女子 68.2%と約 7 割の生徒がクラブ活動に参加していたが、クラブ活動に参加している生徒のうち「部活をとてがんばっている」と答えたのは男子 49.5%、女子 41.4%であった（表 39）。

表 38. あなたはクラブ活動をしていますか？

	男子	%	女子	%
はい	2,105	72.3	1,938	68.2
いいえ	786	27.0	897	31.6
不明	22	0.8	7	0.2
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 39. どれぐらい熱心に部活をしていますか？

	男子	%	女子	%
とてがんばっている	1,043	49.5	803	41.4
普通にやっている	769	36.5	825	42.6
あまりがんばっていない	247	11.7	267	13.8
わからない	35	1.7	36	1.9
不明	11	0.5	7	0.4
合計	2,105	100.0	1,938	100.0

◆習い事への参加状況（表 40）（表 41）

習い事（塾/予備校以外の芸術、語学、スポーツ等）への参加状況を尋ねた（表 40）。男子 12.7%、女子 23.0%が習い事をしていた。習い事をしている生徒のうち、「とてもがんばっている」のは男子 46.1%、女子 37.4%であった（表 41）。部活、習い事ともに、主観的意見ではあるが、女子よりも男子の方が「とてもがんばっている」割合が高い傾向が見られた。

表 40. あなたは習い事（芸術、語学、スポーツなど）（塾・予備校はのぞく）をしていますか？

	男子	%	女子	%
はい	369	12.7	653	23.0
いいえ	2,523	86.6	2,181	76.7
不明	21	0.7	8	0.3
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 41. どれくらい熱心に習い事をしていますか？

	男子	%	女子	%
とてもがんばっている	170	46.1	244	37.4
普通にやっている	152	41.2	333	51.0
あまりがんばっていない	28	7.6	68	10.4
わからない	12	3.3	3	0.5
不明	7	1.9	5	0.8
合計	369	100.0	653	100.0

◆ボランティア活動への参加状況（表 42）（表 43）

ボランティア活動への参加状況（自発的なものだけでなく、学校での強制的なものも含めて）を尋ねた（表 42）。参加経験のある生徒は、男子 9.0%、女子 14.2%と約 1 割前後に限られていた。ボランティア活動経験のある生徒に参加頻度を尋ねた（表 43）。最も多かったのが、「年に数回程度」で男子 72.6%、女子 76.2%であった。

表 42. あなたはボランティア活動をしていますか？

	男子	%	女子	%
はい	263	9.0	403	14.2
いいえ	2,626	90.1	2,435	85.7
不明	24	0.8	4	0.1
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 43. ボランティア活動にどれくらい参加していますか？

	男子	%	女子	%
年に数回程度	191	72.6	307	76.2
月に1かいぐらい	38	14.4	69	17.1
毎週	19	7.2	20	5.0
毎日	9	3.4	1	0.2
不明	6	2.3	6	1.5
合計	263	100.0	403	100.0



◆アルバイト経験（表 44）（表 45）

高校2年生にこれまでのアルバイトの経験の有無を尋ねた（表 44）が、男子 33.7%、女子 45.1%と女子のアルバイト経験者が多かった。アルバイト経験者のうち、アルバイトをする目的で最も多かったのが「自分の欲しいものを買うため」で男子 73.2%、女子 78.1%、次に多かったのが「携帯電話の料金」で男子 25.5%、女子 31.4%であった。

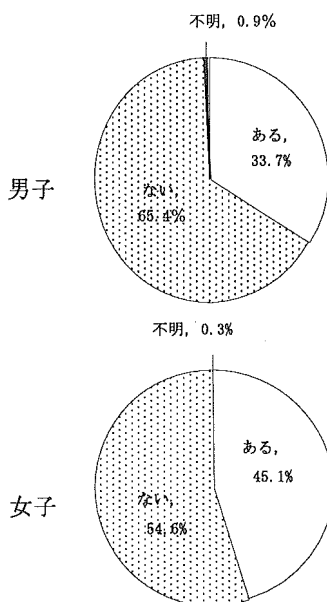
表 44. あなたはアルバイトをしたことがありますか？

	男子	%	女子	%
はい	983	33.7	1,282	45.1
いいえ	1,905	65.4	1,552	54.6
不明	25	0.9	8	0.3
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

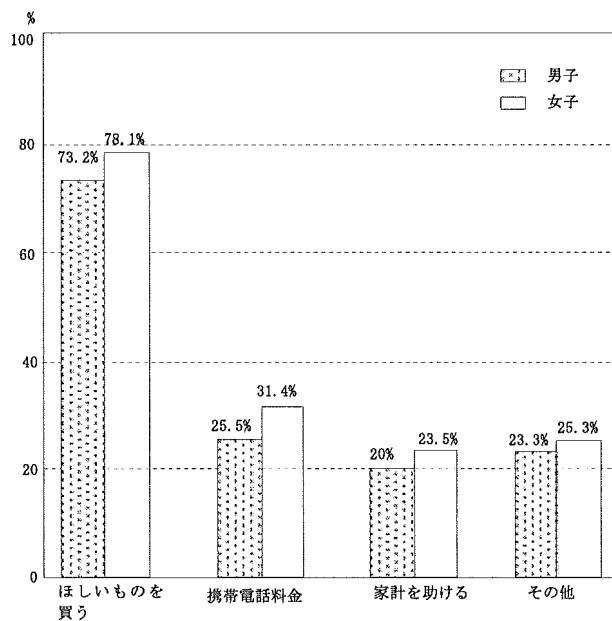
表 45. アルバイトの目的は何ですか？（複数回答）

	男子 n=970	%	女子 n=1279	%
携帯電話料金のため	247	25.5	402	31.4
自分のほしいものを買うため	710	73.2	999	78.1
家計を助けるため	194	20.0	301	23.5
その他	226	23.3	324	25.3

アルバイトをしたことがありますか？



アルバイトをする目的



◆喫煙経験/飲酒経験（表 46）（表 47）

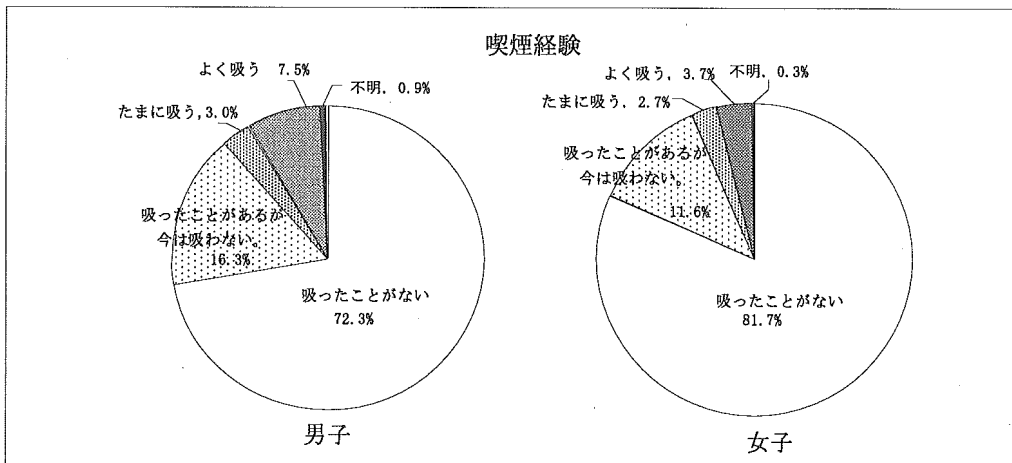
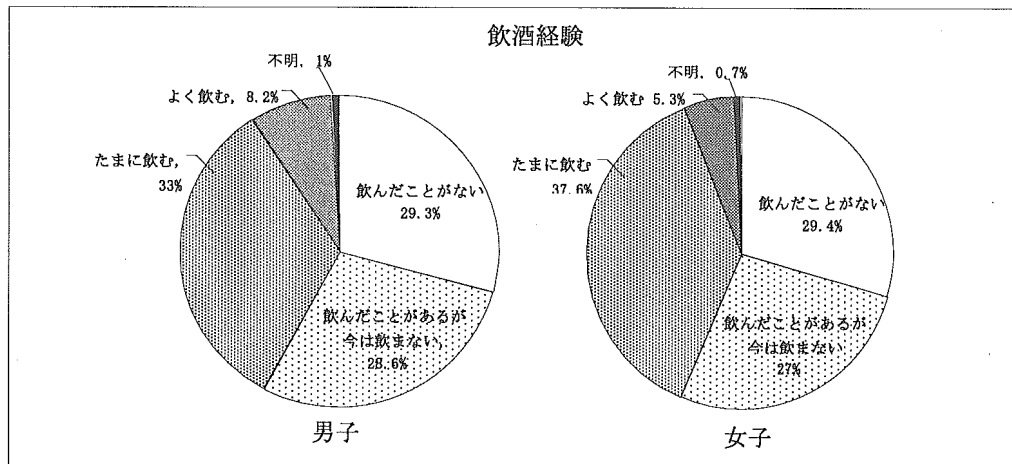
高校 2 年生の喫煙経験は、男子 26.8%、女子 18.0%で約 2 割前後であったが、そのうち、「よくすう」生徒は、男子 7.5%、女子 3.7%存在した（表 46）。次に、高校 2 年生の飲酒経験は、男子 69.8%、女子 69.9%で男女とも約 7 割にも達していた。そのうち「よく飲む」のは男子 8.2%、女子 5.3%で（表 47）、前述の喫煙状況と比べると飲酒に対するハードルの低さがうかがわれた。

表 46. タバコをすったことがありますか？

	男子	%	女子	%
すったことがない	2,105	72.3	2,322	81.7
すったことがあるが、今はすわない	476	16.3	331	11.6
たまにすう	88	3.0	76	2.7
よくすう	219	7.5	104	3.7
不明	25	0.9	9	0.3
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 47. お酒をのんだことがありますか？

	男子	%	女子	%
のんだことがない	853	29.3	835	29.4
のんだことがあるが、今は飲まない	832	28.6	767	27.0
たまにのむ	961	33.0	1,070	37.6
よくのむ	239	8.2	151	5.3
不明	28	1.0	19	0.7
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

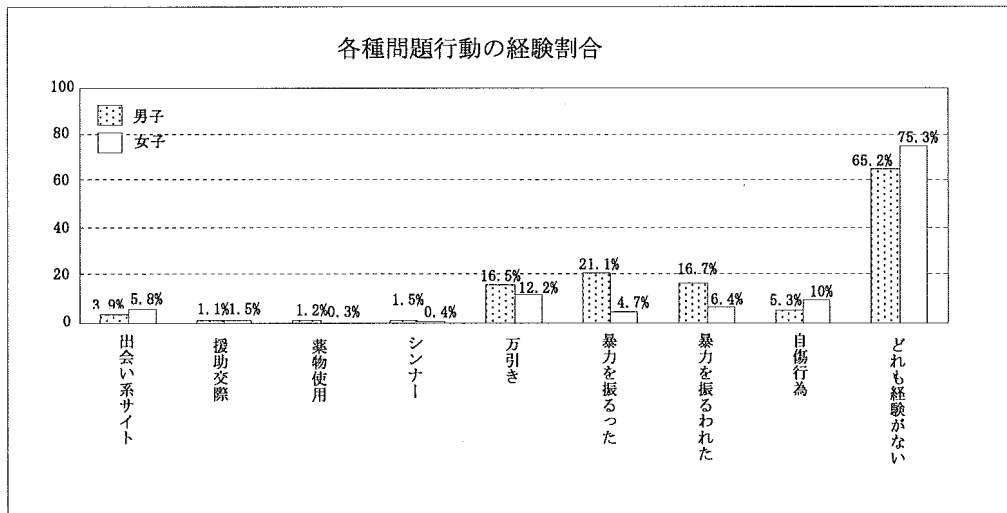


◆各種問題行動の経験（表 48）

高校2年生に各種の問題行動の経験の有無を尋ねた（表 48）。「出会い系サイト」利用経験者は男子 3.9%、女子 5.8%で、昨年度の同調査結果では高校2年生で男子 6.9%、女子 9.2%であったので、昨年と比べると減少傾向が見られた。「援助交際」経験率は、男子 1.1%、女子 1.5%で、昨年と大きな変化は見られなかった。「大麻・スピード・エクスタシー・シンナーなどの薬物使用」は、合計で男子 2.7%、女子 0.7%であった。一方、今回新たに質問を加えた「万引き」経験者が男子 16.5%、女子 12.2%と約1～2割にも達していた。「暴力を受けた（被害）」経験者は男子 16.7%、女子 6.4%であった。さらに、「自傷行為」経験者は、男子 5.3%、女子では 10.0%にも達し、高校生の中に様々な問題行動が広がっていることが今回の調査から明らかとなった。

表 48. あなたは、次にあげることを経験したことがありますか？（複数回答）

	男子		女子	
	n=2752	%	n=2757	%
出会い系サイト利用	108	3.9	160	5.8
援助交際（お金をもらってつきあうこと）	30	1.1	40	1.5
大麻、スピード、エクスタシーなどの薬物使用	34	1.2	9	0.3
シンナー	40	1.5	10	0.4
万引き	455	16.5	337	12.2
暴力をふるった	580	21.1	129	4.7
暴力をふるわれた	459	16.7	176	6.4
自傷行為（自分で自分を傷つけること）	145	5.3	275	10.0
どれも経験がない	1,793	65.2	2,077	75.3



(5) 交際状況 (表 49) (表 50)

◆交際状況 (表 49) 交際相手 (表 50)

高校生の交際状況を表 49 に示した。一度も交際経験のない人は、高校 2 年生では、男子 43.6%、女子 35.3%と約 4 割であった (男女差  $P<0.001$ )。また、現在、交際相手のいる人は、男子 20.7%、女子では 27.7%と男子よりも女子が高かった (男女差  $P<0.001$ )。これまでの交際相手は、「高校生」が男子では 91.4%、女子では 75.6%と大多数を占めるが、女子では、高校生以上の相手が男性より大きく (男女差  $P<0.001$ )、「社会人」が 12.0%、「大学生」が 8.7%、「フリーター」が 3.1%を占め、高校生以外の社会集団とのネットワークのつながりが大きいことが観察された。

表 49. あなたは現在、交際している人がいますか

	男子	%	女子	%
誰とも交際したことがない	1,271	43.6	1,002	35.3
以前は交際していたが、現在はいない	980	33.6	1,013	35.6
現在、交際している	603	20.7	787	27.7
不明	59	2.0	40	1.4
合計	2,913	100.0	2,842	100.0

表 50. 相手はどういう人ですか (複数回答)

	男子 n=595	%	女子 n=782	%
中学生以下	18	3.0	4	0.5
高校生	544	91.4	591	75.6
フリーター	9	1.5	24	3.1
大学生	8	1.3	68	8.7
社会人	21	3.5	94	12.0
その他	10	1.7	11	1.4

交際相手の種類

